

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

記入年月日:令和6年1月31日

		チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		国が定める基準以上の広さを確保。 感染予防の為、改修で隔離できる部屋確保。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			国が定める基準以上の職員数を配置。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			上がりかまち等必要な箇所には手すりを設置。 トイレ改修し、介助しやすいスペース確保。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			2回/年職員に向けての目標設定実施。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			前回の評価を受け、今後の活動案等も記載。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第二校は外部評価未実施。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修補助費支給など研修を推奨している。 就業時間内での研修参加も実績多数あり。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			少なくとも半年に一度の保護者面談等実施。 必要に応じ、家庭・学校等へアセスメントを行う。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		必要に応じて、全通所共通の評価バッテリー(実施)
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			PT、OT、ST立案のプログラム実施。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			自己選択した活動の中にプログラムを入れている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個別目標に対する評価、課題を日々設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別支援計画に沿った活動内容も組み込んでいる。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝ミーティングを行い、今日の支援内容の確認や今日の目標を設定している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			ミーティング・振り返りは朝に実施。 特記事項ある際には、ラインワークス等で共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別支援記録など適宜記入。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定められた頻度でのモニタリングと、必要に応じてケース会議を実施。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			送迎時・電話等で確認連絡を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			訪問看護スタッフとの連携を実施。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	小学四年生以上の受け入れのため未実施。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	今年度は移行実績なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	外部研修(zoomを含む)は積極的に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	交流が苦手な児童在籍もあり、今年度未実施。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			子ども部会研修参加など。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			タブレットを用い、写真や動画を適宜配信。送迎時、電話等で相談支援常時対応。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			支援内容の共有と家庭における支援方法の提案などを行っている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談支援はその都度応じている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会は未運営の為、今後の課題。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的にHP更新、インスタグラム投稿。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		HPに公開している。 台風や積雪時など一斉ラインにてマニュアルを添付している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		国で定められた頻度の訓練実施。 地域との連携も取り入れた訓練も実施した。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待・身体拘束防止委員会による研修を実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束の実績なし。 虐待・身体拘束防止委員会による研修を実施している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		契約時アレルギー調査は行っている。アレルギーのあるお子様に対して、緊急時対応の確認を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		法人内アクシデント・インシデント研修会開催。